

らくしあんたいむず

春の新作

おすすめ!

Pick Up -1



N-289 ろうけつ染めのれん「藤なみ」

『藤なみ』とは、藤の花房が春風になびくさまを波に見立てた、日本古来の情感豊かな言葉の一つ。7世紀～8世紀頃に書かれた万葉集には、「藤波の」という言葉を使った歌が多く記されています。

古より愛でられてきた『藤なみ』を、京都洛柿庵ならではの染めで描き、のれんにしました。

手染めの味わいで、風趣な春の情景を表現した、こだわりある1枚に仕上がっております。

《京都洛柿庵工房より》

～「藤なみ」ができるまで～

●3つの手染め工程

1.ろうけつ染め

2.引き染め

3.手描き



《ろうけつ染め》
①ロウを置くための『スクリーン型』という版を生地の上にセット。



②『スクイージー』という大きなヘラでロウを型の上に均等に広げます。かなり力が必要。

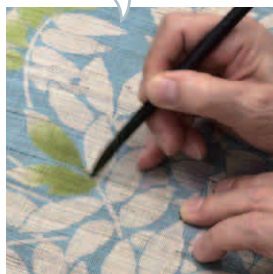


③濡れたように見えるのが、ロウを置いた部分。藤の形がシルエットになって現れました。



《引き染め》
ロウが乾いたら大刷毛でぼかしながら地色を染めます。ロウの部分は水を弾き、染まりません。乾いたらロウを落とします。

生成りのままの葉や枝に、筆で色を置きます。滲みやすいので細かな部分ははみ出さないよう慎重に。



《手描き》
花と枝葉に色をつけていく作業。全体のバランスを取りながら細かな部分1つずつに、色付けしていきます。



花にほんのり藤色のぼかしを小さな刷毛で入れていきます。柔らかな雰囲気がでるよう、細やかに刷り込みます。



落款を押して完成!!

春の新作

おすすめ!

Pick Up -2

手描き

の

贅沢

仕上げ



生成りの生地に美しくよく映える、白色の顔料は、桜の花の彩色には、なくてはならない材料の一つです。粘性が強く、水で溶かして使いますが、その濃度を調節して、ぼかしたり滲ませたりします。

「さくら草花」では、薄めと濃いめの白色の顔料を使い分け、花に強弱をつけて描いています。こうすることで桜の花全体に奥行きとボリュームが生まれ、風情ある雰囲気を醸し出しています。



生命力あふれる春の花々を、生き生きと手描きで染めています。桜や草花に動きが感じられるのは、構図によるものだけではなく、書き手の筆使いによっても表現されます。

「さくら草花」の草花たちは、柔らかな筆使いと鮮やかな色で描かれています。桜の大木に見守られてすくすく育ちゆく様子に心とむ一枚です。

RJT-013
洛粹手描きタペストリー
「さくら草花」

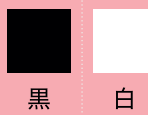
名入れオプションについて

京都洛柿庵商品への名入れオプションは、書体・文字サイズ・色・配置を自由にお選びいただけます。

名入れ文字のサイズ

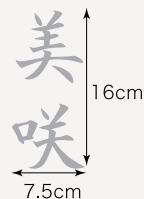
小	～10×20cm
中	～20×20cm
大	～38×38cm

基本色



基本書体

- | | |
|-----------------|---------|
| ① 有澤楷書 | ④ 祥南行書体 |
| ② HG行書体 | ⑤ 麗流隷書 |
| ③ 衡山毛筆フォント行書OTF | |



◀左の名入れ写真の場合、実際の文字部分のサイズは約 W7.5×H16cmなので、サイズは小、色は白、書体は「有澤楷書」となります。

- ・文字全体の大きさにより価格が変動します。
- ・大サイズを超えたり、基本以外の色、書体をご希望の場合でもご対応いたします。

詳しくはお問い合わせください。

春の新作

Pick Up -3

名入れ

おすすめ!

桃の節句のお飾りに、華やかなタペストリーをご用意しました。雛壇代わりに掛けて頂くだけでなく、お名前を入れて出産祝い、命名式のお祝い等、ご贈答にもお勧めです。



T-704
ろうけつ染めタペストリー
「だいらびな内裏雛」